

SCR6712 取扱説明書(スピードコントローラー)

仕様

- ファンタッチセットアップ(押ボタン式)
- オーバー電流オーバーヒート保護機能付き
- 低内部抵抗
- ハイパワーモーター使用可能
- 前進バック機能付き
- ブレーキング時のリチャージ機能付き

標準設定

- アンプの設定をおこないません。
- 受信機のチャンネル2(スロットル用)に接続します。
- 送信機と受信機のバンド(周波数)が合っているかどうか確認し、スロットルをニュートラルの状態です送信機のスイッチを入れます。
- 走行用バッテリーに接続し、電源スイッチをいれます。
- セットアップボタンをLEDが点滅するまで2秒押し続けます。
- スロットル前進一杯こし、バック側も一杯こし、ニュートラルにもどします。これで設定完了です。
- 付属のコンデンサーは、購入されたモーターにコンデンサーが付いている時は使用しません。
- モーターと接続するコネクタはグリーンがマイナス、イエローがプラスです

アドバイス:

- バッテリーの極性を間違えないよう、コネクタの向きに注意して接続して下さい。
- 正しく設定されていると、スロットルを前進一杯こした時、赤色のLEDが消滅します。
- ブレーキもかけられ、バック走行も可能です。前進側から直接バックすることがないように、2秒のデレイがプログラムされています。
- LEDが赤色に点灯してもモーターが動かない場合は、過負荷による発熱で内臓のヒートプロテクターがはたらき、故障を防ぐために動作を停止します。(ピニオンギヤを小さくしてください)温度が下がれば自動的に復帰し走行することができます。
- バック走行を連続で行うと、発熱の原因にもなります。連続走行は避けてください、モーターやアンプを冷やしてから走行するようにしてください。
- ゴム製ドリフトタイヤを使用する際はもとくに負荷が大きくなりますので、ピニオンギヤをかなり小さめで使用してください。
- 走行していてノッキング現象(加速している最中にパワーが抜け前後にギクシャクする)が出たときはバッテリーの残量が無くなった時ですので、バッテリーを交換してください。

コネクタの選択

付属の受信機用コネクタが受信機と互換性があるかどうか確認して下さい。

フタバ、KOはそのまま使用できます。

サンフ、JF型受信機を使用する場合は、以下の手順で加工してください。

- ① 小型ドライバーなど先端の尖ったもので金属の爪を押し込み、コネクタからコードを引き抜けるようにします。
- ② コネクタからコードを抜き、金属の爪を上へ曲げます。
- ③ コードをコネクタの中へ挿入して下さい。
- ④ 配線は下の表と使用しているサーボのコードの色を参考にして間違えないように注意してください。
- ⑤ コネクタから横に出ているミミをニッパー等で切り落とします。
- ⑥ 旧型の受信機を使用される方は、送信機の説明書をよく確認して配線をしてください。
- ⑦ 各メーカーのコードの色は以下のようになります。

	フタバ、KO	JR	サンフ
5V+	赤	赤	赤
マイナス	黒	茶	黒
信号	白	橙	青

取り付け方法

- ① 可能な限りアンプはアンテナ線・受信機から離れるよう搭載して下さい。しかし、モーターとバッテリーには届くように配線してください。
- ② クリーナー等でアンプのそことシャーシ面を洗浄して下さい。付属の両面テープを使用し、シャーシにしっかりと固定して下さい。
- ③ 付属のバッテリーコネクタを変える場合、バッテリーの極性を間違えないよう気をつけて下さい。

コンデンサーの取り付け

付属のコンデンサーは使用しません。

注意

- アンプや電子部分は絶対に水に触れないようにしてください。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
- 走行後、アンプのヒートシンクは非常に熱くなります。直接手で触れないようにして下さい。
- ショートのおそれがありますので、ヒートシンクに配線や金属パーツなどが接触しないようにして下さい。
- 設定を行う時は車が動かないようスタンドの上に固定し、タイヤやホイールが地面に触れないようにして下さい。
- ※ まれにスピードコントローラーのセットアップデータが、熱やクラッシュのショックで消える場合があります。その場合SCR6712取扱説明書の標準設定の手順を再度行ってください。